



シニアライフ お役立ち情報

VOL.2

インタビュー

酒井 学さん

JICAシニアボランティア
(品質管理)



プロフィール

60歳	長年勤めた会社（総合電機メーカー）を定年退職
61歳～64歳	台湾の総合電機メーカーに再就職
65歳～67歳	JICAシニアボランティアとして2年間メキシコの大学で品質管理を教える

仕事をリタイアされた方は、どんな風に過ごしていると思いますか？

人生はそれぞれ、自分の納得のいくように過ごすのが一番ですが、誰かの過ごし方を知る事で「こんな道もあるんだ！」と選択肢が増えるきっかけになるかもしれません。そんなきっかけとなるよう、実例をご紹介します。今回はメキシコで2年間JICAシニアボランティアとして活動された酒井 学さんにお話を伺いました。

―派遣されるまでのいきさつを教えてくださいませんか。

僕は60歳まで総合電機メーカーにエンジニアとして勤務していました。60歳で定年を迎えた後、暇だし年金がフルで出る65歳までどうしようかなと思っていたところ、ちょうど台湾のメーカーから声がかかったので、再就職して3年ほどそこで働いていました。65歳になるちょっと手前まで働いた後、これからは好きなことをしようかな、ということでJICAのシニアボランティアに応募しました。

娘が青年海外協力隊に行っていたので、身近だったんです。勤めていた頃は海外の工場に何度か単身赴任していたの

で、海外での单身生活も苦にならないし。海外経験と、エンジニア経験を活かして何かできないかなと思っていました。子供もとくに自立していましたし、妻も「いいんじゃない？」みたいな感じでした。妻は妻でボランティアとか好きなことしています。

―しばらくゆっくりしようとは考えなかったのですか？

仕事をしなくなったら暇で仕方なくなるだろうと思いました。まだ元気だし、70過ぎくらいまでは身体が動くだろうから、このシニアボランティアに2回くらい行けるかなと思ったんです。しかも自分がやってきたことを使って何かできるなら最高だと。だから65歳になったら絶対JICAに応募しようと思っていました。

―シニアボランティアがうってつけだったのですね。好きなことをして過ごそうという気持ちと行動力は大事ですね。どうしてメキシコを希望したのですか？

何でかというのは単純で、僕が行った時に希望の職種で募集があったのがコロンビアとメキシコくらいだったんです(笑)。スペイン語（公用語）はできなかったですけど、英語ができればとりあえずOKとあったし、受かった後は語学研修をしっかりやらしてもらえました。

―メキシコって治安が悪いイメージがあるのですが…心配はなかったのですか？

東京も危ないところは危ないのと同じで、危ないところを危ない時間に1人でウロウロしなければ、普通に生活する分には大丈夫ですよ。でも本当に危ないから絶対に行くなと言われていたところはありません。私がいたメキシコシティの中でも、危ないから行っちゃダメですよ、という地域がありました。その辺は現地の人でもあまり行きません。



▲トルーカ市内のUPVT (トルーカにある工科大学)での講演風景

—活動場所は企業の工場ですか？

配属先はメキシコ州の文部省で、州立大学で教えていました。州の中になんとか大学があるので、半年ごとに4校まわる予定でした。結局5校行くことになって、結構忙しかったですね。

—大学講師ということですね。品質管理についてはどのように教えるのですか？

基礎知識はもちろんですが、州立大学は企業実習が必須なんです。品質管理のノウハウを、地元企業で実際に運用する中で生徒たちに学ばせていました。大企業の工場は大抵できているので、いわゆる町工場に「実習させてよ、その代わり色々指導するから」ってお願いして実習をさせてもらっていました。指導しても「面白いね」で終わるのがほとんどで、町工場でどれだけ長続きするのかという問題はありましたが、その点は、1人2人でも伝えられればいいやと割り切っていました。

—そういう意味では、あまりやりがいというのは感じられなかったですか…？

そんなことはないですよ。会社員時代との対比ですけど、ボランティアだと予算がいくらあってどれだけ売上目標を達成したか、というのがない。だから非常に楽でしたけど、その分やりがいをどうやって作るか、行って何をするか、というのが大事でした。やる事はもちろん募集要項に書いてあるんですけど、半年前に出たものだから今は違うよ、ということが当たり前にあるんです。だから実際に派遣先がどういうことを期待していてそれにどう応えるか、に重きを置いていました。

—やりがいは自分で作るもの。大切な思考ですね。このボランティアの前にボランティア活動をしたことはあったのですか？

ないです。僕は活動の内容が仕事の延長みたいなものだったので、飛び込みやすかった。このボランティアは現地での生活費分の給料は出ますし、変に新しい分野に挑戦するよりもやりやすいかもしれません。

ボランティアでなくても、何事も始めてみないとわからないし、何をやっていいんじゃないかと思います。経験は人によって違うし、それを活かしたいという人もいれば逆にまったく新しいことをやってみようという人もいるでしょうし。やったことがないからダメだというのはなくて、むしろやったことがないから面白いかもしれない。何でもいいからやってみると面白いんじゃないかと思います。

私くらいの年代になると色々な経験があるから、ちょっとくらいうまくいなくてもごまかしたりもできますし(笑)。

—それくらいの気持ちでいた方が何事にも飛び込めそうですね。最後に、JICAのシニアボランティアに、また行きたいと思いませんか？

もう一回応募しようと思っています。どこに行きたいというのは特にこだわってなくて、仕事ができるところだったらどこでもいいかな。

.....

物静かな印象の酒井さん。しかし講義の写真や実際に使用した図表を見せてくれながら、楽しそうに話してくださいました。「やりがいは自分で作るもの」という言葉が今も心に残っています。

聞き手 (株)星和ビジネスリンク 関

Introducción para 5S (8/33)

No	Japanese	English	Español
1	整理 Seiri	Sorting (Good arrangement)	Clasificacon
2	整頓 Seiton	Set in order (Good order)	Orden
3	清掃 Seisou	Shine (Cleaning)	Limpiar (Limpieza)
4	清潔 Seiketsu	Standardization (Cleanliness)	Reglamentar (Reglamentación)
5	躰 Shitsuke	Sustain (Discipline)	Disciplinar (Disciplina)

▲▶ 講義で使った資料。日本ではおなじみの「5S」をわかりやすく説明

整理 Seiri (9/33)

Clasificar

1) Dividir las cosas en 2 tipos;
a) cosas útiles.
b) cosas inútiles.

2) Desechar las cosas inútiles.

➡ << Reducir las cosas >>


